

3月定例会

平成30年度一般会計・特別会計当初予算P. 5
一般質問 ～町政のことが聞きたい～P. 8～12
わたしの一言・議会のうごきP.14

藍住町 第93号 議会だより

平成30年5月25日

藍住西幼稚園

発行●藍住町議会

編集●議会だより編集委員会 徳島県板野郡藍住町奥野字矢上前 52-1

TEL (088)637-3127

FAX (088)637-3156

<http://www.town.aizumi.tokushima.jp>

平成30年 第1回臨時会

第42代議長 森 彪氏



議長就任の御挨拶

議長 森 彪

4月27日開催の臨時会において、第42代藍住町議会議長に就任させていただくことになりました。誠に光栄に存じますとともに、責任の重さ、身の引き締まる思いでございます。

前任の奥村議長が、酒気帯び運転で摘発されるという不祥事を起こしてしまい議長を辞職しました。

議会を代表し、町民の皆様にご心よりお詫び申し上げます。

今後は、町民の信頼回復に向け、議会一丸となって取組を進めてまいりたいと考えております。皆様方の御支援・御協力を賜りますようお願い申し上げます。就任の御挨拶といたします。

【議長 森 彪氏の略歴】

昭和55年2月初当選。7期目。
38代副議長、総務常任委員会委員長、藍住町環境衛生特別委員会委員長、藍住町まちづくり特別委員会委員長などを歴任。

～議員提案～

- 議長の辞職の件 原案可決
- 議長の選挙 森 彪
- 藍住町議会議員辞職勧告動議 原案可決
提出者 鳥海 典昭 議員
賛成者 安藝 広志 議員、矢部 幸一 議員
林 茂 議員・小川 幸英 議員が賛成討論を行い、全会一致で可決した。
議会議長は、議員辞職勧告動議とは、議会在公職の身分にふさわしくないとされる人物に対し辞職を勧める意思表示で、法的拘束力はない。
- 議席の一部変更 原案可決
- 議会改革調査特別委員会委員の辞任 原案可決
- 議会改革調査特別委員会委員の選任 奥村晴明
- 板野西部青少年補導センター組合議会議員の選挙 森 彪

～町長提案～

- 平成29年度藍住町一般会計補正予算の専決処分（※）の報告と承認 原案可決
歳入歳出それぞれ1億8,000万円増額し、予算総額を103億6,000万円とする
- 藍住町課等設置条例の一部を改正する条例の専決処分の報告と承認 原案可決
- 藍住町税条例等の一部を改正する条例の専決処分の報告と承認 原案可決
- 藍住町国民健康保険税条例の一部を改正する条例の専決処分の報告と承認 原案可決

※専決処分とは？（地方自治法第179条）

町長が議会を招集する時間的余裕がない場合に町長が議会に代わって、議会在議決すべき条例・予算などの案件を処理すること。

町長が専決処分をした場合は、次の会議においてこれを議会に報告し、承認を求めなければならない。

委員会構成

構成後の委員会・一部事務組合議会議員

議会運営委員会

委員長 佐野慶一
副委員長 平石賢治
委員 安藝広志
委員 鳥海典昭
委員 徳元敏行
委員 西岡恵子

常任委員会

総務文教常任委員会

委員長 鳥海典昭
副委員長 平石賢治
委員 西川良夫
委員 林川茂
委員 奥村晴明
委員 佐野慶一

建設産業常任委員会

委員長 安藝広志
副委員長 矢部幸一

厚生常任委員会

委員長 徳元敏行
副委員長 西岡恵子
委員 小川幸英
委員 永濱茂彪
委員 森

特別委員会

藍住町総合文化ホール 特別委員会

委員長 森志郎
副委員長 鳥海典昭
委員 矢部幸一
委員 西岡恵子
委員 西川良夫
委員 小川幸英
委員 林川茂
委員 佐野慶一

藍住町防災対策 特別委員会

委員長 安藝広志
副委員長 矢部幸一
委員 喜田修
委員 古川義夫
委員 徳元敏行
委員 西岡恵子
委員 西川良夫
委員 平石賢治
委員 永濱茂樹

藍住町議会だより 編集委員会

委員長 矢部幸一
副委員長 西岡恵子
委員 安藝広志
委員 徳元敏行
委員 林茂

議会改革調査特別委員会

委員長 西川良夫
副委員長 安藝広志
委員 喜田修
委員 古川義夫
委員 鳥海典昭
委員 矢部幸一
委員 徳元敏行
委員 西岡恵子

監査委員

委員長 小川幸英
委員 林川茂
委員 奥村晴明
委員 平石賢治
委員 森志郎
委員 佐野慶一
委員 永濱茂樹

一部事務組合等 議会議員

林 健太郎(学識)
佐野 慶一(議員)

板野東部消防組合議会

矢部 幸一
森 志郎

板野西部青少年補導 センター組合議会

森 彪
永濱 茂樹

徳島県後期高齢者医療 広域連合議会

永濱 茂樹
(敬称略)

議会改革に取り組んでいます

議会改革調査特別委員会委員長 西川 良夫

4月15日、町議会議長の酒気帯び運転で警察に摘発された件につきましては、町民の皆様にご迷惑をお掛けいたしました。議会改革の最中の不祥事であり、議会全体の緩みが招いた結果だと重く受け止め、議会一同、猛省し、心からお詫びを申し上げ、信頼回復に向けて全力を尽くしてまいります。

さて、21世紀は地方の時代と言われて久しく、一極集中など地域格差も見られる中で、議会に課せられた責務は重大であると実感しております。議会の役目として、地域住民の中へ積極的に出向き、悩み事など対話を通じて、様々な課題解決に挑戦し、安心して暮らせるまちづくりを推進しなければなりません。そのためにも、議会活動を一層活発化させ住民の皆様のご期待に応え得る議会を目指して、昨年9月22日に議会改革調査特別委員会を設置し、改革に取り組んでいるところでございます。町民の皆様には何とぞご理解賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

3月議会定例会が3月5日から23日までの19日間の会期で開会され、下記の議案について審議しました。

高橋町長は平成30年度の所信表明を行いました。詳細については、広報あいずみ4月号に掲載しています。

一般質問では5人の議員が登壇し、町政について質問しました。

3月定例会

～町長提案～

- 平成29年度藍住町一般会計補正予算 原案可決
- 平成29年度藍住町特別会計（国民健康保険事業）補正予算 原案可決
- 平成29年度藍住町特別会計（介護保険事業）補正予算 原案可決
- 平成29年度藍住町特別会計（後期高齢者医療事業）補正予算 原案可決
- 平成29年度藍住町特別会計（下水道事業）補正予算 原案可決
- 平成30年度藍住町一般会計予算 原案可決
- 平成30年度藍住町特別会計（国民健康保険事業）予算 原案可決
- 平成30年度藍住町特別会計（介護保険事業）予算 原案可決
- 平成30年度藍住町特別会計（介護サービス事業）予算 原案可決
- 平成30年度藍住町特別会計（後期高齢者医療事業）予算 原案可決
- 平成30年度藍住町特別会計（下水道事業）予算 原案可決
- 平成30年度藍住町特別会計（水道事業）予算 原案可決
- 藍住町課等設置条例の一部改正（下水道課を上下水道課に変更） 原案可決
- 藍住町個人情報保護条例の一部改正 原案可決
- 藍住町議会議員の議員報酬、費用弁償及び期末手当に関する条例の一部改正 原案可決
- 常勤特別職の給与に関する条例の一部改正 原案可決
- 藍住町国民健康保険税条例の一部改正 原案可決
- 藍住町手数料徴収条例の一部改正 原案可決
- 藍住町国民健康保険条例の一部改正 原案可決
- 藍住町特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する基準を定める条例の一部改正 原案可決
- 藍住町後期高齢者医療に関する条例等の一部改正 原案可決
- 藍住町介護保険条例の一部改正 原案可決
- 藍住町指定地域密着型サービスの事業の人員、設備及び運営に関する基準を定める条例の一部改正 原案可決
- 藍住町指定地域密着型介護予防サービスの事業の人員、設備及び運営並びに指定地域密着型介護予防サービスに係る介護予防のための効果的な支援の方法に関する基準を定める条例の一部改正 原案可決
- 藍住町指定地域密着型サービス事業者等の指定に関し必要な事項を定める条例の一部改正 原案可決
- 藍住町指定介護予防支援等の事業の人員及び運営並びに指定介護予防支援等に係る介護予防のための効果的な支援の方法に関する基準を定める条例の一部改正 原案可決
- 藍住町水道事業の設置等に関する条例の一部改正 原案可決
- 藍住町指定居宅介護支援等の事業の人員及び運営に関する基準を定める条例の制定 原案可決
- 藍住町工場立地法地域準則条例の制定 原案可決
- 藍住町勤労青少年ホームの設置及び管理に関する条例の廃止 原案可決
- 町道の路線認定 原案可決
- 指定管理者の指定（パークゴルフ場の指定管理者を「日本道路株式会社徳島営業所」に指定） 原案可決
- 藍住町副町長選任の同意 加藤弘道氏
- 藍住町教育長任命の同意 青木秀明氏

～諮問～

- 人権擁護委員候補者の推薦 山里茂美氏

～報告～

- 平成30年度藍住町土地開発公社の事業計画

3月定例会

平成30年度一般会計当初予算

一般会計101億5,000万円

前年度当初予算対比3.3%

一般会計の主な事業・新事業

(1万円未満四捨五入)

- ・ 藍染普及推進事業 888万円
(地域おこし協力隊の導入等)
- ・ (仮称) 藍住町文化ホール・公共施設複合化事業 3億8,672万円
(福祉センター等解体設計、周辺工事及び複合公共施設建築工事等)
- ・ 介護予防対策推進事業 470万円
(健康ウォーキングポイント事業、スポーツクラブ加入促進事業)
- ・ 西部児童クラブ新築工事費 3,500万円
- ・ 保育園整備事業補助金 1億4,147万円
- ・ 子どもはぐくみ医療扶助費 1億9,256万円
- ・ 農林水産業費 2,119万円
(若手の新規就農支援、農地利用集積協力金、経営体育成支援事業補助金等)

平成30年度一般会計・特別会計当初予算

会計名	予算額	前年度当初予算対比
一般会計	101億5,000万円	3.3%
特別会計	国民健康保険事業	34億8,300万円 △11.5%
	介護保険事業	25億6,500万円 4.7%
	介護サービス事業	790万円 △36.8%
	後期高齢者医療事業	3億3,300万円 9.9%
	下水道事業	4億2,400万円 △3.2%
	水道事業	収益的支出
資本的支出		1億8,957万円 15.2%

平成29年度一般会計補正予算

歳入歳出
それぞれ

1億4,500万円減額

予算
総額

101億8,000万円

～主な補正の内容(1万円未満四捨五入)～

総務費

- ◆ 庁舎空調更新工事 2,000万円

農林水産業費

- ◆ 農山漁村未来創造事業補助金 (事業不採択のため) △3,000万円

教育費

- ◆ 勝瑞城館跡整備事業費工事請負費 △1,490万円

民生費

- ◆ 国保会計基盤安定繰出金 556万円
- ◆ 介護保険事業会計繰出金 2,900万円
- ◆ 保育対策総合支援事業補助金 △1億4,147万円
(施設整備が実施できなかったため)
- ◆ 施設型給付費 △2,280万円
(給付費見込み額により)

平成29年度特別会計補正予算

会計名	補正額	補正後の額
国民健康保険事業	922万円	40億6,600万円
介護保険事業	2,900万円	25億8,050万円
後期高齢者医療事業	1,640万円	3億3,980万円
下水道事業	△900万円	4億2,900万円

常任委員会 主な質疑

3月定例会の議案については、その審査を各常任委員会に付託しました。各委員会において審査した結果、それぞれ全会一致で原案可決され、最終日に各委員長から審査結果の報告がありました。主な質疑・意見については次のとおりです。

厚生常任委員会

平成29年度 介護保険事業補正予算

問 高額介護サービス費が、500万円増えているが、対象者は何人増えたのか。

答 12月までの実績を踏まえ3月までの給付費不足分を計上しており、人数については、把握していない。

平成30年度 一般会計予算

問 介護予防対策推進事業、健康ウォーキングポイント事業の具体的な方策は。

答 65歳以上の介護認定を受けていない方を対象に、ゆめタウンの施設内をウォーキングした回数に応じて、ゆめタウンの商品券をお渡しし、楽しく運

動を習慣付けてもらうことを一番に考えている。商品券については、藍住町とゆめタウンとで半分ずつ費用負担をする。

問 スポーツクラブ加入促進事業をどのように周知していくのか。

答 広報誌やホームページ、各種会議でのパンフレット配布等で広く周知する。

問 子どもはぐくみ医療費事業

問 10月施行をもう少し早くできないのか。

答 条例改正、関係の医療機関等や対象者への周知、受給者証の交付手続等もあるため、10月施行となる。

〔母子保健費〕

問 不育症治療に対して、藍住町での取組は。

答 昨年10月から不妊対策の助成を始めたところであり、不育症についての取組はできていない。今後県内の状況を見ながら検討していきたい。

〔各種検診委託料〕

問 委託料は増加しているのか。また、受診者は毎年増加傾向にあるのか。

答 がん検診の単価についての変動はないが、その年に何人受診したかによって金額の変動がある。受診人数については、横ばいで増加はしていない。

〔不燃物処理委託料〕

問 委託料の額が大きいなどのような物を処理しているのか。また、生ごみや燃えないごみの数量は減っているのか。

答 廃プラスチック、施設で出た灰の埋め立て、瓶、ペットボトル、粗大ごみ等の処理をしている。ごみの数量は、年間6千トンで、ここ二、三年は横ばいである。

平成30年度 国民健康保険事業当初予算

問 高額療養費、出産一時金、葬祭費の対象者の人数と支給される額は幾らなのか。

答 対象者人数の把握はできていない。出産一時金は42万円、葬祭費については、国民健康保険に加入されていた方に対して2万円を支給。

〔保険給付費等交付金〕

問 特別交付金で、保険者努力支援分で予算化されているが、どのような内容か。

答 国民健康保険に加入している被保険者の増加や、特定検診の受診率の増加や、ジェネリック薬

品の使用頻度の増加等の事業を実施することで、保険者努力支援分の交付金が増加する。

平成30年度 介護保険事業当初予算

問 居宅介護サービス給付費、地域密着型介護サービス給付費、施設介護サービス給付費、介護予防サービス給付費、高額介護サービス費の内容の違いは。

答 居宅介護サービス給付費は、要介護1以上の方で、自宅で介護を受ける給付費。地域密着型介護サービス給付費は、地域密着型の通所施設や認知症で共同生活をするグループホーム等の介護施設を利用される方の給付費。施設介護サービス給付費は、老人福祉施設等に入所されている方の給付費。介護予防サービス給付費は、要支援の方の給付費。高額介護サービス費は、一定金額以上を超えて利用された方への給付費である。

建設産業常任委員会

平成30年度 一般会計当初予算

〔県営地盤沈下対策事業
負担金〕

問 いつまで負担金が必要なのか。

答 今年度から井隈土地改良区の地盤沈下対策事業が始まり、測量設計を実施している。事業期間については、測量設計ができれば判明すると思うが、現在は未定である。

問 地積調査事業費の進捗状況は。

答 調査対象面積は13・5km²で、1・38km²が完了している。進捗率は10%である。

問 千間堀排水路改修計画の改修計画はどのようなものか。

膨大な費用が掛かるため難しい。目に見えるごみを撤去することぐらいしか、現在、対処の方法がない。

〔一般町道新設改良費〕

問 町道竜池猪熊線の県道検藍住線との交差点部分を広げられないのか。

答 今の状況を解消するために用地交渉等を検討したい。
【意見】 早急に対応してもらいたい。

〔旧大塚家具北側排水路改修事業〕

問 旧の大塚家具北側排水路は改良できないのか。

答 今年度測量設計が終わり、来年度の事業実施に向けて検討したい。

問 〔富士・本村川改修事業〕地盤改良はできないのか。

答 ヘドロが十数メートル堆積しており、人や重機が入っていけない状況で、地盤改良をするには



町道の路線認定箇所を視察する建設産業常任委員

総務文教常任委員会

平成30年度 一般会計予算

〔危機管理対策費〕

問 町内防災倉庫設置箇所数と賞味期限のある備蓄品はどうしているのか。

答 町内には各小中学校とその他2か所に防災倉庫を設置しており、賞味期限の近くなったものは、防災訓練や啓発活動等で使用している。備蓄倉庫には無洗米を1600kg保管しているが、それは給食で使いながら、減った分は新たに追加する方法で保管をしている。

問 〔(仮称)藍住町文化ホール・公共施設複合化事業〕工事請負費3600万円の内訳は。

備手法等を検討しているところである。また、避難場所については、国の史跡の保存に関する補助金で購入しているため、高台を造るということは、まず不可能であるが、史跡の整備としてできる方法があるか考えたい。

〔学校教育費〕

問 労務管理や負担軽減の取組はどうしているのか。

答 タイムカードについては、検討の段階にはなっているが設置はできていない。また、教師の負担軽減については部活動の指導員や外部コーチ等を活用する取組を行っている。

問 購入については、外国製、日本製を含め今後検討していく必要がある。また、管理については、リハール室の近くに湿度管理のできる専用の部屋を設ける予定である。

答 福祉センター周辺に多岐にわたる設備があり、それを取り除く費用である。

問 ピアノの購入方法と、購入後の管理はどうするのか。

答 購入については、外国製、日本製を含め今後検討していく必要がある。また、管理については、リハール室の近くに湿度管理のできる専用の部屋を設ける予定である。

問 〔勝瑞城館跡整備事業費〕整備事業の進捗状況と勝瑞地区での避難場所はどうか。

答 現在はI期整備事業を進めており今年度で完了する。II期整備事業については、大規模な池庭が検出されたため、その整

〔給食調理業務等委託料〕

問 材料費が値上がりしているが、藍住町での対応は。

答 平成11年から値上げはしておらず、給食費の負担金だけでは賄いきれないため、一般財源を投入している状況であり、給食費の引上げについては、今後検討する必要がある。

藍住町の将来像は 活力ある自立したまちづくりを目指す



森 彪 議員

問 住民、職員、議会も福祉や教育を大切にしたい県下に誇れる町を期待している。議会もチェック機能を発揮し、住民の悩みや声を酌み取り、福祉の向上、社会発展に取組ます。町長は、これからの藍住町のかじ取りをどうするか。

答 高齢者の方への支援として、新たな事業を計画し、子どもはぐくみ医療扶助の対象年齢を高校卒業まで引き上げる。今後の災害に備え、自主防災組織の結成に向けて取り組むなど、積極的に施策を展開していきたい。

災害時の避難体制

円滑にできるよう避難体制の整備を進める

障害者福祉

郡内で協議しながら、支給量の上限について検討

答 避難行動要支援者の名簿を作成し、災害時に避難を支援する消防署、消防団、警察、民生委員、社会福祉協議会等の関係者と平常時から情報の共有をしている。

問 近年の大地震や豪雨災害では、高齢者や障がい者の被害が多く見られる。高齢化が進み、地域ぐるみの避難も難しくなっている。その支援体制は。

答 知的障がい者・精神障がい者を対象にした行動援護、視覚障がい者を対象にした同行援護が

問 障害者福祉行政の基
本は憲法25条の生存権、最低限度の生活を営む権利、社会福祉、社会保障の向上、増進に務めなければならぬ。そして、憲法14条のすべて国民は、法の下に平等であるとした、憲法の精神を障害者福祉の基本とすべきである。
障がいのある人の地域における自立した生活、生きがいづくり、社会参加への行政支援の取組は。

問 障がい者への行動援護、同行援護、通院介助等への地域生活支援事業については、1か月20時間となっているが、障がい者の方は現行では足りないため、鳴門市、徳島市のよ

あり、居宅介護サービスには通院等介助がある。また、福祉サービスを受けられない、移動が困難な障がい者を対象とした外出等の支援を実施している。
また、障がい者やその家族等からの相談に対応する相談支援事業所が9か所あり、あらゆる相談に対応している。



町民一斉避難訓練の様子（平成29年度）

答 段差を解消できる区間の選定と設計を進めており、通行量や周辺状況を十分考慮して、整備区間の選択をする必要がある。

問 障がいのある人への安全な道路環境の整備を。
町内道路の安全な改修を年次的に計画し、改修を求める。
答 板野郡内で協議しながら、支給量の上限について検討。
うに1か月30時間の支援を求める。

機能別消防団員の導入

現段階において、検討はしていない



西川 良夫 議員

問

大規模災害限定の機能別消防団員は、災害時に基本団員だけでは対応できないとして各地で導入が進んでいる。一定規模の災害時に限って出勤し、避難誘導や安否確認、避難所運営などを行い、震度5以上の地震や津波警報が発令された場合などを出勤の目安としている。今後の災害に備えて検討してはどうか。

答

板野東部消防組合に確認したところ、管内の消防団員は地域に密着した活動も実施し、日頃からの訓練も重ねており、大規模災害発生時にも、十分対応していく技量を備えているとのことであるため、現段階において、機能別消防団員の導入についての検討は実施していない。

「藍の館」の運営について

徳島県教育委員会と協議を行いながら順次修繕していく

問

藍関係の民俗資料館として藍の館・藍屋敷を訪れる観光客も藍染め体験など通じて改めて藍の魅力を感じ、口コミなどで感動を広げている。奥村家文書、藍関係民俗資料の恒久的保存と学術的利用をはじめ、藍の専門博物館として阿波藍の知識の普及と情報発信を担っているが、老朽化が進む建物の修繕計画を伺いたい。

答

平成24年度に全体の現況調査を実施し、緊急に補修が必要な箇所から、徳島県教育委員会からの補助金を受けて修繕を行っている。修繕が必要な箇所は多くあるが、徳島県教育委員会と協議を行いながら順次、修繕をする予定である。



藍の館

その他の質問

○住民情報のクラウド化について

国土強靱化地域計画について

国や県の計画を参考に検討

問

国土強靱化地域計画とは、どのような自然災害等が起こっても機能不全に陥らず、強靱な地域を作り上げるための計画である。大地震など自然災害等に備えるため、事前の防災・減災を目指すとともに迅速な復旧・復興を目的とする地域計画は、まちづくりや地域経済も含めた総合的な取組として計画的に実施する必要がある。

答

全庁的な検討体制を構築し、自治会や地域住民、民間事業者、警察、消防等と連携しながら進める必要がある。国や県の計画との整合を図りつつ、本町の特性を考慮した計画を考えており、広範な分野の関係者と連携、協力しながら、国や県の計画を参考に検討する。

町政のここが聞きたい



小川 幸英 議員

町長の公約について

誰もが住んで良かったと思える町にしたい

問 町長の8つの公約は、1「町民と共に歩むまちづくり」、2「人にやさしいまちづくり・高齢者、障がい者の皆さんが安心して笑顔で暮らせるまちづくりを推進します」、

3「子育て支援の充実・安心して子育てができる環境整備に努めます」、4「災害に強いまちづくり・南海トラフ巨大地震、中央構造線地震に備え災害に強いまちづくりを推進します」、

5「環境にやさしいまちづくり」、6「産業の振興」、7「教育環境の充実」、8「文化の薫るまちづくり」。

この公約に対して今後どのように取り組んでいくのか。

答 1、町の情報を十分に発信する必要があるため、SNS等を活用。

2、高齢者の方の健康づくりを中心とした事業等を計画。

3、子どもはぐくみ医療扶助の対象年齢を高校卒業まで引き上げる。

4、地域の自主防災組織の結成促進に努める。

5、公共施設のLED化を進める。

6、新規就農者等への支援を検討する。

7、教育環境の整備に取り組む。

8、質の高い芸術文化に触れる機会の創出に努める。

農業振興について

継続的に支援を行う

問 本町において若手の新規参入の現状と取組はどうなっているか。

また農業後継者育成について現状と今後の取組はどうなっているか。

答 平成24年度に1名、27年度に2名、29年度に4名の新規就農があり、新規就農者には、青年等就農計画を作成してもら

り、新規就農者には、青年等就農計画を作成してもら

い、認定後は、機械の取得等に活用できる無利子資金や農業次世代人材投資資金の交付を受けることができる。

農業後継者については、「人・農地プラン」に位置づけられると、機械等の導入時に低金利融資や補助制度を利用できる。今後も関係機関と連携し支援を行う。



ニンジンの収穫に励む安崎慶太さん(乙瀬)

その他の質問

○中学校の部活動について
○ふるさと納税について

インフルエンザ対策について

近隣の動向を見ながら検討

問 昨年の冬から今年に掛けてインフルエンザが大流行したが、本町において小中学校で学級閉鎖した学校があるのか。

答 北小学校で1クラス2日間、南小学校で1クラス1日間、西小学校では3クラスで延べ8日間、東小学校では5クラスで延べ12日間の臨時休校をしている。

問 予防注射は1歳から小学校6年生までは2回することになっており、約5千円から6千円掛かる。中学生は1回で約4千円掛かり、子育て中の家庭では大変な出費になる。重症化を防ぐために補助ができないか。

答 近隣の動向や、財政状況を踏まえ、今後検討する。

環境衛生について

放流計画の整備基本計画を策定中である



林 茂 議員

問 し尿及び浄化槽汚泥を下水道へ放流計画の推進状況は。

答 現在、整備基本計画を策定中である。

問 し尿収集業務を民間に委託したが、委託前と委託後の比較は。

答 平成19年度から28年度の10年間で1億6100万円の削減。

問 し尿くみ取り料金が、高いと言われるが、民間業者と料金の比較は。

答 町は消費税込みで90円と、民間業者より低い料金である。

問 生活困窮者に対する使用料減免制度を作らないか。

答 今のところ検討していない。

自然再生可能エネルギーの導入を促進すること

今後の検討課題

問 防災対策上からも役場など公共施設や、

学校などに太陽光発電設備を進め、太陽光パネル設置に補助金を出すことを議会で要望したが検討は。

答 建物の強度等構造上の問題などを考慮し、今後検討したい。また、設置についての国の補助制度は平成26年度に廃止されており、町単独での補助事業については、慎重に行わなければならない。

問 町の温室効果ガス排出削減目標と計画、実行状況は。

答 5年間で5%の削減を目標としており、平成28年度では5・5%の

減となっている。

問 学校の教室にLED照明器具の設置を進めること。

答 学校トイレの洋式化工事終了後に検討する。

問 LED照明の導入状況と財政支出及び効果は。

答 町内の外灯は、ほぼLED化されており、現在2495基を導入している。

外灯1基当たりでは、40Wの契約から20Wの契約になり、173円程安くなっている。



LED電灯 (図書館駐車場)

汚水処理事業計画について

下水道事業と合併浄化槽推進事業に取り組む

問 一般会計からの繰入金は税収入を財源としているため、公共下水道を利用する住民だけに恩恵を与えると、下水道を利用できない住民との間に不公平が起きると言ってきたが、平成30年度予算も下水道事業に2億円を繰入れ、合併浄化槽には、町補助金3029万円と、財政投資が不公平であるため、見直しをすべきだ。

答 一般会計への繰入金については、一部交付税措置がされている。

問 平成30年度事業計画で下水道事業と合併浄化槽の汚水処理人口の増加見込みは。

答 平成29年度末では、下水道事業は3752人で261人の増、合併処理浄化槽は1万6521人で363人の増加見込みである。

問 合併浄化槽の転換補助金を増額すべきだ。

答 昨年度、補助金の見直しを行い、国、県の定める補助基準額の上限で、現在実施している。

学校給食の目的にのっとり実施できているか

野菜の高騰時は冷凍食品に変更し、栄養素が不足しないよう提供している



西岡 恵子 議員

問

学校給食は、「児童生徒及び生徒の心身の健全な発達に資するもの」、「学校給食の普及及び学校における食育の推進を図ること」が目的とされ、児童生徒の成長に重要な役割を果たしています。原材料高騰での給食提供、地産地消の取組や食物アレルギーへの対応、食育の推進について尋ねます。

答

野菜高騰の場合は、冷凍野菜に変更し対応しており、米、ネギ、コマツナ、チンゲンサイは藍住町産を使用。食物アレルギーの対応については、医師の診断書等の提出により、卵除去の献立と、飲用牛乳停止の対応を行っている。毎年、朝食に関するアンケートを実施し、学年だよりや食育だより等で朝食の重要性について周知している。今後も家庭や学校等と連携し、食育に取り組む。

観光交流資源魅力化プロジェクトの取組について

藍染めファンの拡大やクリエイターの創出等を検討

※クリエイター……創作家、制作者、芸術家

問

藍事業において、県も阿波藍魅力創造発信プロジェクト会議を設置。新たに県庁内に藍推進会議を設け、全庁一丸となって藍の事業展開を進めるとしています。本町においてもこれまで様々な取組をしていますが、今議会提案の3回目となる「インディゴコレクション2018」や藍染めワークショップ、藍作への取組、また阿波藍の日本遺産申請について尋ねます。

答

「インディゴコレクション2018」は10月21日開催予定。また、藍染めワークショップについては、参加者の作品や意見などを更に広く紹介し、藍染めファンの拡大やクリエイターの創出、藍の館の来館者の増加に向けた検討を進めたい。藍作実現のためには人材育成が不可欠と考え、3人の隊員を募集、規定の活動期間の3年を掛けて人材の育成に取り組む。本町をはじめ9市町村の連盟で、平成30年1月29日に日本遺産の申請を行った。

問

この制度は、子育て中の保護者にとって医療費を気にせず治療ができることで、何よりの大きな支援です。平成30年度より高校修了時まで制度拡大のことで、取組について尋ねます。

答

10月施行を目的に、条例改正、関係機関や対象者への周知、受給者証の交付手続などの準備作業を進めている。

子どもはぐくみ医療費助成
制度への取組について
10月施行を目的に準備を進める



インディゴコレクション2017 (町民シアター)



自治功労者表彰

3月2日、徳島県町村議会議長会第69回定期総会において、自治功労者表彰式が行われ、次の方が表彰されました。

徳島県町村議会議長会会長表彰（11年以上在職）

西岡 恵子 議員



2月19日、北島町議会改革推進特別委員会・武山光憲委員長を講師に迎え「北島町における議会改革について」研修会を開催し、北島町での議会改革の取組と状況について、今後の議員活動に生かせる意見が交わ

されました。
藍住町議会では、議会改革に向けて取組を進めており、議会改革調査特別委員会を設置し、意見を集約するため作業部会を立ち上げることになりました。

議会改革調査特別委員会で 研修会を開催



3月23日、定例会閉会后、全議員で現場視察を実施しました。藍住町総合文化ホール特別委員会では定期的に現場視察を予定しています。次回は6月頃に行う予定です。



（仮称）藍住町文化ホール・公共施設複合化 事業建設工事の現場視察を行いました

定例会案内

本会議を傍聴しませんか

次の定例会は6月です。

（定例会日程については6月1日からホームページに掲載予定です。そちらをごらんください。）

次号は8月に発行します。

詳しくは議会事務局まで
お問い合わせ ● 議会事務局 637-3127

編集委員会では、町民の声の投稿を募集しています。
議会や町政に関する御意見をお寄せください。

投稿規定

- ①住所・氏名・電話番号を明記。
- ②掲載時に匿名を希望する方は申し出てください。
- ③字数は500字以内。
- ④投稿者の多い場合には、掲載月を調整する場合があります。

～安任に住んで～

私が藍住北中学校に通学していた頃は、もう60年近く前になりますが、家から中学校（現在のシーリングテクノ）まで安任を南北に横断して通学しており、その時の安任の民家は十数軒ぐらいだったと思います。安任に住んで四十数年、今では250軒以上になり、大変大きな地区になりました。今は安任自治会の役員をしています。きっかけは「ちょっと手伝って。」です。会社を定年退職し毎日暇そうにしていたのが目についたのでしょう。自治会運営に携わって感じたことは、地域のことを知らない、道で挨拶されてもどこの誰だか分からない、四十数年も住んでいるのに、でした。会社と自宅を往復している人は、私のような人も多いのではないのでしょうか。

自治会としては、まず顔見知りになれるよう、いろいろな行事を計画し実行していますが、参加者が減少傾向です。安任地区も高齢者住宅、独居老人、空き家が増え、自治会会員も減ってきています。新しく転入した人の自治会参加も少なくなり、これから心配です。いつ起こるか分からない南海トラフ地震には、共助が必要ですが、非常時の助け合いがうまくできるか心配です。これからの自治会活動への支援、指導をよろしくお願いします。



議会のうごき

2月

- 2日 議会だより編集委員会
- 7日 徳島県後期高齢者医療広域連合 全員協議会（徳島市）
- 15日 徳島県後期高齢者医療広域連合 定例会（徳島市）
- 19日 議会改革調査特別委員会
- 20日 板野郡町議会議長会定例会
- 23日 農業振興地域整備促進協議会
- 26日 議会運営委員会

3月

- 2日 徳島県町村議会議長会定期総会（徳島市）
- 5日 3月議会定例会開会
- 6日 厚生常任委員会
- 7日 建設産業常任委員会
- 8日 総務文教常任委員会
- 9日 中学校卒業式
- 13日 3月議会定例会一般質問
- 15日 議会改革調査特別委員会（作業部会）
- 15日 小学校卒業式
- 23日 3月議会定例会閉会
- 議会改革調査特別委員会
- 議会全員協議会

4月

- 26日 教職員離任式
- 26日 板野西部青少年補導センター 組合議会定例会（板野町）
- 27日 板野東部消防組合議会定例会（北島町）
- 28日 社会福祉協議会理事会
- 29日 議会改革調査特別委員会（作業部会）
- 2日 議会運営委員会
- 2日 教職員着任式
- 10日 小・中学校入学式
- 11日 議会運営委員会
- 27日 議会改革調査特別委員会
- 27日 議会全員協議会
- 27日 議会運営委員会
- 27日 第1回議会臨時会



バラ園

編集後記

3月議会の高橋町長の所信表明で、「あいずみスポーツクラブに所属する65歳以上で要介護認定を受けていない高齢者の方を対象として、年会費のうち3000円を補助する。」というのがありました。

元気で、スポーツするお年寄りが増えるのはとても良いことです。私も知人や友人を一人でも多く誘いたいと思います。楽しみながら健康づくりができる環境整備に期待します。

（矢部 幸一）

議会だより編集委員会

- | | |
|------|-------|
| 委員長 | 矢部 幸一 |
| 副委員長 | 西岡 恵子 |
| 委員 | 安藝 広志 |
| 委員 | 徳元 敏行 |
| 委員 | 林 茂 |